

2027年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年7月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小笠原 浩

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートブランディング (氏名) 加藤 貴亮 TEL 093-588-3076
本部 広報・IR部長

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	138,982	10.6	8,486	△19.2	8,506	△13.6	5,602	△23.2
2026年2月期第1四半期	125,642	△5.1	10,503	△5.5	9,849	△20.1	7,291	△21.5

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭		円 銭	
2027年2月期第1四半期	5,445	△21.7	10,599	229.2	21.00		20.97	
2026年2月期第1四半期	6,952	△24.4	3,220	△83.6	26.81		26.78	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2027年2月期第1四半期	824,555		495,038		485,057		58.8	
2026年2月期	812,365		493,615		483,542		59.5	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2026年2月期	-	34.00	-	34.00	68.00
2027年2月期	-	-	-	-	-
2027年2月期（予想）	-	36.00	-	36.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	580,000	7.0	60,000	26.8	65,000	31.1	47,000	33.4	181.21	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト（<https://www.yaskawa.co.jp>）に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	266,690,497株	2026年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	7,322,737株	2026年2月期	7,322,538株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	259,367,885株	2026年2月期1Q	259,347,356株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、四半期決算短信（添付資料）5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2026年7月10日（金）に証券アナリスト・機関投資家向けオンライン決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

①2027年2月期第1四半期連結累計期間（2026年3月1日～2026年5月31日）の経営成績

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営環境は、中東情勢をはじめとした地政学的リスクなどがある中、AI関連投資にけん引された半導体およびデータセンタを中心とした設備投資需要は好調に推移しました。

このような環境のもと当社グループの業績は、経営基盤の強化を目的とした基幹システムの移行にともなう生産への影響を受けたものの、売上収益は半導体およびデータセンタ関連投資を背景とした需要の拡大などにより前年同期比で増加しました。一方、営業利益については、基幹システムの移行影響に加え、間接費の増加や欧州における事業構造改革費用などの計上などにより、前年同期比で減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

	2026年2月期 第1四半期連結累計期間	2027年2月期 第1四半期連結累計期間	前年同期比
売上収益	1,256億42百万円	1,389億82百万円	+10.6%
営業利益	105億3百万円	84億86百万円	△19.2%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	69億52百万円	54億45百万円	△21.7%
米ドル平均レート	146.15円	158.82円	+12.67円
ユーロ平均レート	162.03円	184.85円	+22.82円
中国人民元平均レート	20.13円	23.19円	+3.06円
韓国ウォン平均レート	0.102円	0.107円	+0.005円

なお、当第1四半期連結累計期間における当社グループの地域別の経営環境は以下のとおりです。

- 日本：半導体・電子部品向けを中心とした需要は引き続き好調に推移し、一般産業分野においても自動化需要は堅調に推移しました。一方で、自動車市場では投資判断に慎重な動きが継続しました。
- 米州：半導体およびデータセンタ関連需要が引き続き好調に推移し、太陽光発電用パワーコンディショナの需要も堅調に推移しました。
- 欧州：自動車市場における需要は引き続き低調に推移したものの、製造業全般の需要は底入れし、一般産業分野における自動化需要や半導体関連の需要に回復が見られました。
- 中国：半導体およびデータセンタ関連投資に支えられ需要は幅広く回復基調となり、一般産業における自動化需要も堅調に推移しました。また、自動車市場においても設備投資は底堅く推移しました。
- 中国除くアジア：韓国・台湾における半導体関連需要が好調に推移するとともに、韓国の自動車市場においては、設備投資は底堅く推移しました。また、インドにおいてインフラ投資にともなう需要の拡大が見られました。

②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	676億35百万円	（前年同期比 +21.5%）
	営業損益	75億62百万円	（前年同期比 +50.1%）
<p>モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。</p> <p>売上収益は、半導体およびデータセンタ関連を中心とした需要拡大を背景に、前年同期比で増収となりました。利益面については、基幹システムの移行に伴う生産稼働への影響があったものの売上増加に伴う利益増の影響により大幅な増益となりました。</p> <p>〔ACサーボモータ・コントローラ事業〕 主力市場である半導体や電子部品、工作機械関連を中心に販売が伸長し、グローバルのすべての地域で売上が増加しました。</p> <p>〔インバータ事業〕 データセンタの建屋空調・サーバー冷却用途向けや半導体製造における真空ポンプ向け、オイル・ガス関連の売上拡大などにより増収となりました。</p>			
ロボット	売上収益	567億28百万円	（前年同期比 +2.0%）
	営業損益	8億88百万円	（前年同期比 △82.3%）
<p>日本・欧州が低迷したものの、自動車市場と一般産業向けの販売が堅調に推移した米州と中国の増収により、売上収益は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。一方、営業利益については、基幹システムの移行にともなう生産への影響に加え、欧州における事業構造改革費用の計上などにより、前年同期比で減少しました。</p>			
システムエンジニアリング	売上収益	98億16百万円	（前年同期比 +5.9%）
	営業損益	19億21百万円	（前年同期比 +86.9%）
<p>上下水道用電気システムおよび港湾クレーン関連の販売が増加し、売上収益は前年同期比で増加しました。利益面については、上下水道用電気システムなど好採算案件の売上増加などにより増益となりました。</p>			
その他	売上収益	48億 2百万円	（前年同期比 △5.5%）
	営業損益	1億93百万円	（前年同期比 △49.4%）
<p>その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。</p> <p>売上収益が減少し、営業利益もその他の収益の減少などにより前年同期比で減益となりました。</p>			

(2) 財政状態の概況

①資産、負債および資本の状況

(a) 資産 8,245億55百万円（前連結会計年度末比 121億89百万円増加）

棚卸資産が増加したものの、その他の流動資産や現金及び現金同等物の減少などにより、流動資産が前連結会計年度末に比べ77億23百万円減少しました。また、有形固定資産や無形資産の増加などにより、非流動資産が前連結会計年度末に比べ199億13百万円増加しました。

(b) 負債 3,295億17百万円（前連結会計年度末比 107億67百万円増加）

営業債務などが減少したものの、その他の金融負債や契約負債の増加などにより、流動負債が前連結会計年度末に比べ146億64百万円増加しました。また、リース負債の増加などがあったものの、借入金の流動負債への振替えや繰延税金負債の減少により、非流動負債が前連結会計年度末に比べ38億97百万円減少しました。

(c) 資本 4,950億38百万円（前連結会計年度末比 14億22百万円増加）

利益剰余金が減少したものの、その他の資本の構成要素などが増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は576億19百万円（前連結会計年度末比36億4百万円減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期利益に減価償却費を加えた収入などから、法人所得税の支払などを差し引き、213億62百万円の収入（前年同期比 59億83百万円の収入増）となりました。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入などがあったものの、有形固定資産及び無形資産の取得による支出や連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出などにより、101億71百万円の支出（前年同期比 9億86百万円の支出減）となりました。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加があったものの、社債の償還、配当金の支払および長期借入金の返済などにより、156億86百万円の支出（前年同期比 182億7百万円の支出増）となりました。

※営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは111億90百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期通期の連結業績予想については、足元の受注は堅調に推移しているものの、経営基盤の強化を目的とした基幹システム移行後の定着状況を慎重に見極めるため、現時点では2026年4月10日公表の予想を据え置きます。

なお、2026年6月1日から2027年2月28日までの期間における平均為替レートについては、2026年4月10日に公表いたしました想定レートから変更はありません。（1ドル＝145.00円、1ユーロ＝170.00円、1元＝20.5円、1ウォン＝0.105円）また、年間配当予想についても変更はありません。

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	61,223	57,619
営業債権	163,942	161,886
契約資産	11,000	9,326
棚卸資産	210,764	215,189
その他の金融資産	3,162	2,023
その他の流動資産	21,422	17,749
流動資産合計	471,517	463,794
非流動資産		
有形固定資産	163,955	175,473
のれん	7,412	9,568
無形資産	30,179	33,875
使用権資産	16,852	18,445
持分法で会計処理されている投資	5,513	5,987
その他の金融資産	90,424	90,816
繰延税金資産	10,753	11,007
その他の非流動資産	15,755	15,586
非流動資産合計	340,847	360,761
資産合計	812,365	824,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	57,681	54,999
社債及び借入金	45,572	45,074
未払法人所得税	3,841	2,437
リース負債	3,737	3,769
その他の金融負債	10,823	21,544
引当金	1,395	2,468
契約負債	28,014	33,743
その他の流動負債	40,094	41,785
流動負債合計	191,159	205,824
非流動負債		
社債及び借入金	64,457	59,648
リース負債	11,085	12,670
その他の金融負債	691	1,005
退職給付に係る負債	25,963	26,199
繰延税金負債	12,784	10,874
引当金	3,265	3,318
その他の非流動負債	9,341	9,976
非流動負債合計	127,590	123,692
負債合計	318,749	329,517
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	29,916	29,894
利益剰余金	369,336	366,538
自己株式	△31,608	△31,605
その他の資本の構成要素	85,335	89,668
親会社の所有者に帰属する持分合計	483,542	485,057
非支配持分	10,073	9,980
資本合計	493,615	495,038
負債及び資本合計	812,365	824,555

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月 1日 至 2026年5月31日)
売上収益	125,642	138,982
売上原価	△80,998	△91,104
売上総利益	44,643	47,877
販売費及び一般管理費	△35,234	△38,301
その他の収益	1,202	287
その他の費用	△108	△1,378
営業利益	10,503	8,486
金融収益	453	679
金融費用	△1,228	△1,112
持分法による投資損益	120	452
税引前四半期利益	9,849	8,506
法人所得税費用	△2,558	△2,903
四半期利益	7,291	5,602
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,952	5,445
非支配持分	339	157
合計	7,291	5,602
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	26.81	21.00
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	26.78	20.97

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年3月 1日 至 2026年5月31日）
四半期利益	7,291	5,602
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融 資産の純変動額	△1,833	174
確定給付制度の再測定額	△305	△186
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	30	△1
合計	△2,108	△14
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,963	4,984
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動 額	0	26
合計	△1,963	5,010
その他の包括利益合計	△4,071	4,996
四半期包括利益合計	3,220	10,599
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	2,900	10,376
非支配持分	319	222
合計	3,220	10,599

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2025年3月1日残高	30,562	29,817	348,003	△31,702	54,508	431,188	8,421	439,610
四半期利益	—	—	6,952	—	—	6,952	339	7,291
その他の包括利益	—	—	—	—	△4,051	△4,051	△20	△4,071
四半期包括利益合計	—	—	6,952	—	△4,051	2,900	319	3,220
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△2	—	16	—	14	—	14
剰余金の配当	—	—	△8,778	—	—	△8,778	△157	△8,936
株式報酬取引	—	56	—	—	—	56	—	56
支配継続子会社に対する持分変動	—	△0	—	—	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△505	—	505	—	—	—
その他	—	—	139	—	—	139	—	139
所有者との取引額等合計	—	53	△9,145	16	505	△8,569	△157	△8,726
2025年5月31日残高	30,562	29,870	345,810	△31,686	50,963	425,520	8,583	434,104

当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2026年3月1日残高	30,562	29,916	369,336	△31,608	85,335	483,542	10,073	493,615
四半期利益	—	—	5,445	—	—	5,445	157	5,602
その他の包括利益	—	—	—	—	4,931	4,931	64	4,996
四半期包括利益合計	—	—	5,445	—	4,931	10,376	222	10,599
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	3	—	3	—	3
剰余金の配当	—	—	△8,842	—	—	△8,842	△314	△9,157
株式報酬取引	—	97	—	—	—	97	—	97
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	598	—	△598	—	—	—
その他	—	△119	—	—	—	△119	△0	△120
所有者との取引額等合計	—	△21	△8,243	2	△598	△8,861	△315	△9,176
2026年5月31日残高	30,562	29,894	366,538	△31,605	89,668	485,057	9,980	495,038

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月 1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,849	8,506
減価償却費、償却費及び減損損失	5,083	6,148
持分法による投資損益（△は益）	△120	△452
金融収益及び金融費用（△は益）	125	204
営業債権の増減額（△は増加）	7,114	5,253
棚卸資産の増減額（△は増加）	△6,554	△1,679
営業債務の増減額（△は減少）	535	△3,886
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	70	216
引当金の増減額（△は減少）	△127	834
その他	5,493	13,079
小計	21,469	28,224
利息及び配当金の受取額	395	392
利息の支払額	△252	△509
法人所得税の支払額	△6,233	△6,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,378	21,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△7
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△10,727	△7,607
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	34	5
投資有価証券等の取得による支出	△740	△38
投資有価証券等の売却及び償還による収入	110	1,178
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	—	△3,736
短期貸付金の純増減額（△は増加）	213	23
その他	△48	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,158	△10,171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	12,508	6,597
長期借入金の返済による支出	△175	△2,308
社債の償還による支出	—	△10,000
リース負債の返済による支出	△1,028	△1,124
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△8,783	△8,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,521	△15,686
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,742	△4,495
現金及び現金同等物の期首残高	59,028	61,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	△446	891
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,323	57,619

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、モーションコントロール、ロボット、システムエンジニアリングの3つの事業単位を基本に組織が構成されており、各事業単位で日本および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部別のセグメントから構成されており、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の3つを事業セグメントおよび報告セグメントとしております。

「モーションコントロール」は、ACサーボモータ、制御装置およびインバータの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。「ロボット」は、産業用ロボットなどの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。「システムエンジニアリング」は、産業用オートメーションドライブおよび社会システムの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表に適用している会計方針と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部売上収益または振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失
前第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結計
	モーショ ンコント ロール	ロボット	システム エンジニア リング	計				
売上収益								
外部顧客への売上 収益	55,659	55,633	9,268	120,561	5,081	125,642	—	125,642
セグメント間の内 部売上収益または 振替高	4,232	570	130	4,934	4,056	8,991	△8,991	—
合計	59,892	56,203	9,399	125,495	9,138	134,633	△8,991	125,642
営業利益	5,037	5,006	1,028	11,072	382	11,454	△950	10,503
金融収益								453
金融費用								△1,228
持分法による投資損 益								120
税引前四半期利益								9,849

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービスなどの事業が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△950百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各セグメントに配分していない
全社収益および費用△989百万円が含まれております。その主な内訳は、報告セグメントに帰属しない基礎研
究などに係る費用および全社費用配賦差額であります。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結計
	モーショ ンコント ロール	ロボット	システム エンジニア リング	計				
売上収益								
外部顧客への売上 収益	67,635	56,728	9,816	134,179	4,802	138,982	—	138,982
セグメント間の内 部売上収益または 振替高	4,436	317	120	4,873	4,394	9,267	△9,267	—
合計	72,071	57,045	9,936	139,053	9,197	148,250	△9,267	138,982
営業利益	7,562	888	1,921	10,373	193	10,566	△2,080	8,486
金融収益								679
金融費用								△1,112
持分法による投資損 益								452
税引前四半期利益								8,506

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービスなどの事業が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△2,080百万円には、セグメント間取引消去△32百万円、各セグメントに配分していない全社収益および費用△2,047百万円が含まれております。その主な内訳は、報告セグメントに帰属しない基礎研究などに係る費用および全社費用配賦差額であります。